



東北大学

Tohoku University Fact Book 2018 : Digest

東北大学概要 2018 : ダイジェスト



総長挨拶



はじめに

東北大学は1907年の建学以来、111年にわたり「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、及び「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出し、独創的かつ世界トップレベルの研究成果を挙げてきました。我が国を代表する総合研究大学として、東北大学をさらに発展させるため、これから力を尽くして参ります。

さて、私たちが生きている世界は、今、大きく変わろうとしています。グローバル化の一層の進展はもちろんのこと、第4次産業革命の進行、特に人工知能やIoT (Internet of Things) の急速な普及により、社会の仕組みが根本から変わりつつあると多くの人を感じています。また、国際社会の多極化に伴って日々複雑さを増す国際情勢も、世界が転換期を迎えていることを示唆しています。このように地球規模で社会・経済の構造が急激に変化する中で、広義のイノベーションの源泉となる卓越した知と、イノベーションそのものの根幹を担う多彩な人材を生み出す総合研究大学の役割は、かつてないほど重要性を増しています。

創造と変革を先導する大学へ

里見進 前総長は、東日本大震災の直後の2012年に総長に就任され、混乱した状況にあった本学の学生・教職員を勇気づけ、24年にわたるキャンパス整備事業を継承して世界に誇るべき青葉山新キャンパスを拓き、本学をこれまでも増して活力ある大学へと発展させました。総長としての私の役割は、その成果を土台として、東北大学を「創造と変革を先導する世界屈指の大学」へと成長、飛躍させることです。ここで私たちに求められることは、「世界最高水準の知を創造」することであり、「未来を拓く変革を先導」することであると考えます。これらの営みを通して、学生諸君や若い研究者たちの挑む心を受けとめ、伸ばし、世界で活躍できる人材を育成しなければなりません。

世界最高水準の知を創造する

第一の目標である、世界最高水準の知の創造は、研究第一主義を標榜する本学にとって、建学以来のミッションでもあります。深い学術的理解を追究する基礎研究に加え、社会的ニーズに応える応用研究・基盤研究など、多様な研究を世界的に高い水準を目指して推進する必要があります。これらの卓越した研究を基盤として、先進的な国際共同教育を展開し、世界をリードする人材を輩出します。さらに、分野・国境を越えたオープンサイエンスを加速し、国際的な協働を通して新たな知識や価値を創造します。以上のような多面的な取り組みの総合をもって国際プレゼンスの抜本的な向上を図ります。

未来を拓く変革を先導する

第二に、東北大学は、未来に向けて社会・経済の変革を力強く先導する存在となります。本学は、東日本大震災の被災地に所在する総合研究大学として、これまで地域の復興・新生を牽引し、「社会と共にある大学」という新たなアイデンティティを獲得してきました。現在、本学のあらゆる学問領域は、社会との多様な接点を有しており、社会との双方向の協働を通して価値創造を行っています。今後、このような広義の「社会連携」に対する組織感度を高め、社会のパートナーと共に新たな挑戦に取り組んでいきます。3.11の経験を土台としつつ、多様な社会課題に対して大学の総合力を活かした解を与えるとともに、イノベーションの源泉となる優れた研究成果を創出し、次世代を担う有為な人材を育成します。

伝統を基盤として新たな挑戦へ

さて、東北大学の111年の伝統は、私たち構成員にとってどのような意味を持つのでしょうか。この伝統とは、東北大学の歴史から見て、現在の私たちが到達することを期待される高いスタンダードであると、私は考えています。昨年、本学は世界最高水準の教育研究活動の展開ができると評価され、文部科学大臣から「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。この中で、時代に追従するのではなく、創造と変革を先導して未来を切り拓くことにより、「世界から尊敬される三十傑大学」を目指すことを目標に掲げました。これは、学生諸君、私も含めた教職員、そして東北大学全体にとって、真に挑戦する価値のある目標であると確信しています。

国立大学法人といえども安定した環境が約束されていない時代です。しかし、このような制約の中でも、私たちに新たな物事の進め方を生み出す知の力があります。卓越した教育研究の展開を通して、本学でしか成しえない人材育成と社会連携の成果が形づくられ、それによって国内外における本学の価値が一層高まり、ひいては、それが本学の新たな活力の源となります。この好循環を構成員、関係者の皆様と一緒に確立していきたいと思っておりますので、どうかご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



東北大学 111年の沿革

(平成30年5月現在)

1907年	6月22日、東北帝国大学創立
1911年	初代総長に、澤柳政太郎就任 「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念を打ち出す 理科大学開設(数学科・物理学科・化学科) 図書館設置
1913年	理科大学で女子の入学を認める(日本初の女性大学生) 県立宮城病院を東北帝国大学に移管(後の東北大学病院)
1915年	医科大学開設 臨時理化学研究所設置(鉄鋼研究所の前身)
1918年	農科大学を分離、北海道帝国大学農科大学となる
1919年	理科大学は、理学部となる 医科大学は、医学部となる 附属鉄鋼研究所設置 工学部設置
1922年	法文学部開設 附属鉄鋼研究所を廃止し、金属材料研究所附置
1935年	附属電気通信研究所設置
1941年	抗酸菌病研究所附置 選鉱製錬研究所附置
1943年	高速力学研究所附置 科学計測研究所附置
1944年	非水溶液化学研究所附置
1947年	農学部設置 10月、東北大学に改称
1949年	学制改革に伴い、新制東北大学に改組 (文・教育・法・経済・理・医・工・農学部) 分校の設置(分校第一・第二・第三・教育教養部)
1953年	大学院設置(文・教育・法・経済・理・工・農学研究科)
1955年	医学研究科設置
1961年	薬学研究科設置
1964年	川内分校・川内東分校を廃止し教養部設置(1993年廃止)
1965年	歯学部設置 教育学部教員養成課程の分離独立(宮城教育大学)
1967年	歯学部附属病院設置
1972年	歯学研究科設置 薬学部設置

1973年	附属図書館本館を川内キャンパスに移転新築
1989年	高速力学研究所を流体科学研究所に改組
1991年	非水溶液化学研究所を反応化学研究所に改組
1992年	選鉱製錬研究所を素材工学研究所に改組
1993年	国際文化研究科、情報科学研究科設置 抗酸菌病研究所を加齢医学研究所に改組
1998年	未来科学技術共同研究センター(NICHe)設置
2001年	生命科学研究科設置 素材工学研究所・科学計測研究所・反応化学研究所の再編統合により多元物質科学研究科設置
2002年	教育情報学教育部、教育情報学研究部設置
2003年	環境科学研究科設置 医学部・歯学部附属病院の合併により東北大学病院に
2004年	国立大学法人東北大学に改組 法科大学院、公共政策大学院設置
2005年	会計大学院設置
2006年	国際高等研究教育院設置
2007年	国際高等研究教育院を改組し、国際高等研究教育機構設置 6月22日、創立100周年 原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)設置
2008年	医工学研究科設置 医学系研究科に保健学専攻設置 百周年記念会館「川内萩ホール」新装開館 青葉山新キャンパス建設工事着工
2011年	東北大学災害復興新生研究機構設置
2012年	東北メディカル・メガバンク機構設置 災害科学国際研究所設置
2013年	学際科学フロンティア研究所設置 女子学生入学100周年
2014年	高等研究機構設置 高度教養教育・学生支援機構設置 国際連携推進機構設置
2015年	学位プログラム推進機構設置 産学連携機構設置
2017年	農学部・農学研究科が青葉山新キャンパスへ移転

歴代総長



初代
澤柳 政太郎



第2代
北條 時敬



第3代
福原 鏡二郎



第4代
小川 正孝



第5代
井上 仁吉



第6代
本多 光太郎



第7代
熊谷 岱蔵



第8代
佐武 安太郎



第9代
高橋 里美



第10代
黒川 利雄



第11代
石津 照麿



第12代
本川 弘一



第13代
加藤 陸奥雄



第14代
前田 四郎



第15代
石田 名香雄



第16代
大谷 茂盛



第17代
西澤 潤一



第18代
阿部 博之



第19代
吉本 高志



第20代
井上 明久



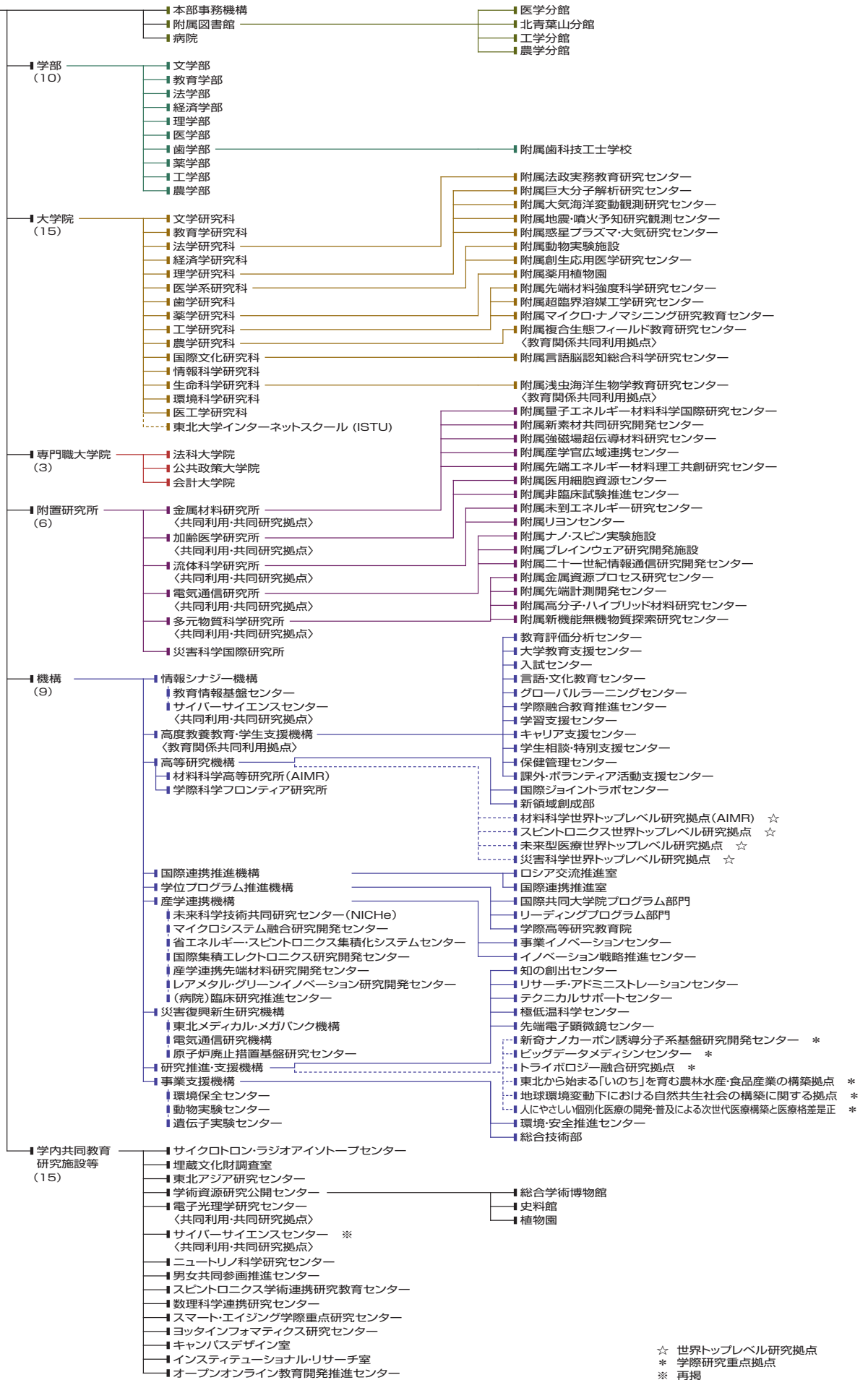
第21代
里見 進

機構図

(平成30年5月1日現在)

国立大学法人東北大学

東北大学



☆ 世界トップレベル研究拠点
* 学際研究重点拠点
※ 再掲

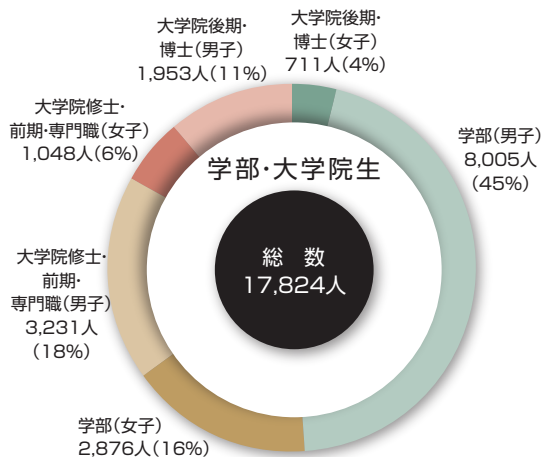
学生数

(平成30年5月1日現在)

学生総数

区分	学生定員	在籍者	
学部学生	10,040	10,881	(2,876)
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,838	4,279	(1,048)
大学院学生(後期・博士)	2,581	2,664	(711)
計	16,459	17,824	(4,635)
附属学校	40	28	(17)
合計	16,499	17,852	(4,652)

()の数は女子で内数



学部

学部名	総定員	在籍者		
文学部	840	960	(491)	[19]
教育学部	280	301	(155)	[0]
法学部	640	729	(236)	[7]
経済学部	1,080	1,176	(234)	[10]
理学部	1,296	1,380	(222)	[42]
医学部	1,386	1,428	(585)	[4]
歯学部	318	318	(142)	[6]
薬学部	360	391	(128)	[1]
工学部	3,240	3,540	(416)	[96]
農学部	600	658	(267)	[20]
計	10,040	10,881	(2,876)	[205]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

外国人留学生(国・地域別)

国・地域	留学生数
中国	1,162
インドネシア	137
韓国	115
台湾	57
タイ	55
フランス	47
ベトナム	44
マレーシア	37
アメリカ合衆国	37
ドイツ	36
その他	362
合計	2,089

学部生、大学院生、研究生、日本語研修コース研修生、その他(特別聴講学生等)の合計

大学院

研究科等名	前期・修士・専門職			
	総定員	在籍者		
文学研究科	178	188	(104)	[66]
教育学研究科	88	76	(50)	[21]
法学研究科	230	150	(32)	[19]
経済学研究科	180	168	(76)	[124]
理学研究科	524	597	(95)	[58]
医学系研究科	184	215	(116)	[29]
歯学研究科	12	14	(9)	[2]
薬学研究科	108	122	(26)	[11]
工学研究科	1,272	1,542	(187)	[183]
農学研究科	218	260	(104)	[38]
国際文化研究科	70	70	(44)	[53]
情報科学研究科	280	341	(59)	[81]
生命科学研究科	212	202	(70)	[18]
環境科学研究科	200	231	(51)	[50]
医工学研究科	70	88	(20)	[13]
教育情報学教育部	12	15	(5)	[10]
計	3,838	4,279	(1,048)	[776]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

総定員	後期・博士			
	在籍者			
135	177	(74)	[53]	
51	68	(28)	[8]	
52	49	(15)	[25]	
60	49	(18)	[21]	
390	263	(39)	[83]	
583	751	(221)	[70]	
168	187	(76)	[34]	
70	69	(14)	[8]	
522	516	(73)	[177]	
111	98	(28)	[22]	
48	53	(32)	[32]	
126	132	(22)	[42]	
124	83	(23)	[24]	
99	100	(32)	[53]	
32	47	(7)	[12]	
10	22	(9)	[1]	
2,581	2,664	(711)	[665]	

附属学校

学校名	定員	入学者		在籍者	
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	17	(12)	28	(17)

()の数は女子で内数

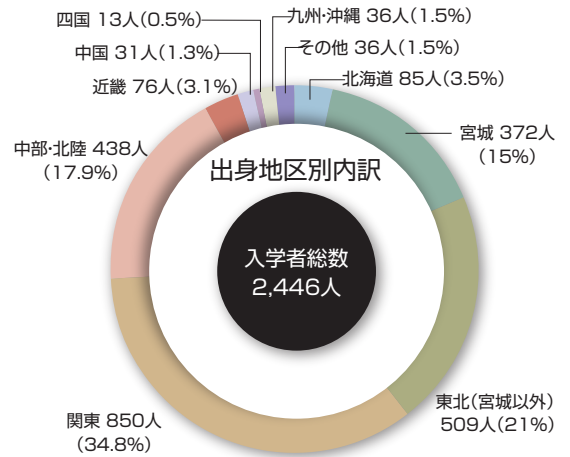
入学人数

(平成30年度)

学部

学部名	入学定員	入学志願者		入学者		
文学部	210	564	(312)	222	(126)	
教育学部	70	263	(140)	75	(43)	
法学部	160	485	(171)	172	(60)	
経済学部	260	1198	(206)	275	(49)	
	20	27	(5)	10	(2)	
理学部	324	1506	(249)	325	(63)	
医学部	医学科	135	645	(167)	139	(30)
	保健学科	144	388	(300)	144	(107)
歯学部	53	223	(91)	53	(25)	
薬学部	80	298	(95)	86	(22)	
工学部	810	2475	(332)	802	(88)	
農学部	150	467	(193)	153	(61)	
計	2396	8512	(2256)	2446	(674)	
	20	27	(5)	10	(2)	

()の数は女子で内数 下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、()の数は女子で内数



大学院

研究科等名	前期・修士・専門職			
	入学定員	入学志願者		入学者
文学研究科	89	135	(91)	78 (52)
教育学研究科	45	90	(60)	45 (32)
法学研究科	90	159	(29)	58 (8)
経済学研究科	90	94	(46)	36 (20)
理学研究科	262	353	(47)	270 (32)
医学系研究科	92	105	(58)	90 (50)
歯学研究科	6	5	(4)	5 (4)
薬学研究科	54	59	(12)	56 (12)
工学研究科	636	918	(115)	717 (86)
農学研究科	109	173	(67)	122 (52)
国際文化研究科	35	56	(38)	27 (19)
情報科学研究科	140	190	(24)	150 (24)
生命科学研究科	106	109	(34)	93 (28)
環境科学研究科	100	128	(19)	102 (14)
医工学研究科	39	42	(8)	37 (7)
計	1893	2616	(652)	1886 (440)

()の数は女子で内数

後期・博士				
入学定員	入学志願者		入学者	
45	45	(25)	32	(15)
15	34	(16)	27	(11)
12	10	(3)	3	(0)
20	11	(2)	10	(2)
130	49	(4)	49	(4)
151	158	(57)	146	(49)
42	37	(14)	36	(14)
22	15	(3)	15	(3)
174	121	(18)	112	(16)
37	27	(9)	26	(8)
16	11	(7)	9	(6)
42	29	(5)	27	(3)
30	14	(6)	13	(5)
33	10	(4)	10	(4)
12	7	(1)	7	(1)
781	578	(174)	522	(141)

卒業

卒業・修了者数

(平成30年3月31日現在)

区分	旧制 (学部: 昭和24年4月以前入学者 後期・博士: 昭和28年3月以前入学者)	新制 (学部: 昭和24年5月以降入学者 大学院: 昭和28年4月以降入学者)	
		平成29年度	累計
学部	17,236	2,548	136,692
大学院	前期・修士・専門職	1,978	59,537
	後期・博士(課程)	559	18,232
	後期・博士(論博)	31	9,360

卒業・修了後の状況 (平成29年度卒業・修了)

(平成30年5月1日現在)

区分	進学者数	就職者数	その他	
学部	1,359	1,017	172	
大学院	前期・修士・専門職	289	1,475	214
	後期・博士	1	404	154

就職者数には臨床研修医等を含む

産業別就職者数

(平成30年5月1日現在)

産業	学部	大学院
農業、林業、漁業	1	2
鉱業、採石業、砂利採取業	1	8
建設業	15	58
製造業	130	891
電気・ガス・熱供給・水道業	16	48
情報通信業	102	167
運輸業、郵便業	18	45
卸売業、小売業	25	26
金融業、保険業	110	37
不動産業、物品賃貸業	17	10
学術研究、専門・技術サービス業	26	164
宿泊業、飲食サービス業	5	4
生活関連サービス業、娯楽業	10	5
教育、学習支援業	40	127
医療、福祉	102	176
複合サービス事業	9	19
サービス業(他に分類されないもの)	22	17
公務(国家公務)	79	30
公務(地方公務)	125	38
その他	0	7
計	853	1,879

役員・職員数

(平成30年5月1日現在)

総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
1	7	2(1)	881	753	191	1,173	154	3,152	3,244	6,406

()は非常勤で内数

役員・主な役職者

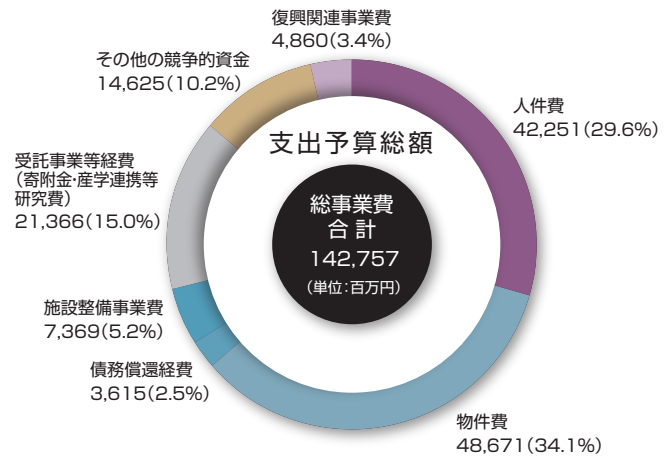
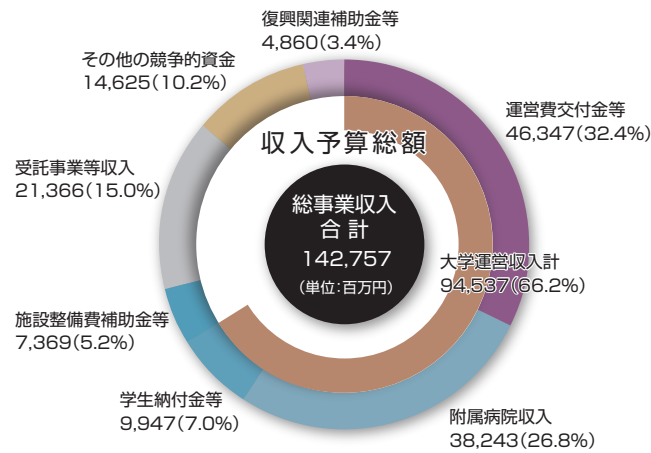
(平成30年5月1日現在)

総長	大野 英 男
理事・副学長(企画戦略総括担当)	青 木 孝 文
理事・副学長(教育・学生支援担当)	滝 澤 博 胤
理事・副学長(研究担当)	早 坂 忠 裕
理事・副学長(総務・財務・国際展開担当)	植 木 俊 哉
理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当)	原 信 義
理事(人事労務・環境安全・施設担当)	大 槻 達 也
理事(産学連携担当)	矢 島 敬 雅

監 事	小 林 邦 英
監 事(非常勤)	牛 尾 陽 子
副学長(病院経営担当)	八重樫 伸 生
副学長(教育改革・国際戦略担当)	山 口 昌 弘
副学長(広報・共同参画担当)	大 隅 典 子
総長補佐	森 本 浩 一
総長補佐	長 坂 徹 也
総長補佐	高 梨 弘 毅

収入・支出予算

(平成29年度)



科学研究費助成事業(文部科学省)交付実績

(平成29年度)

採択件数(件)	交付額(千円)		
	直接経費	間接経費	計
2,735	8,067,751	2,338,446	10,406,197

寄附金・受託研究等契約実績

(平成29年度)

	寄附金	受託研究等経費					学術指導	計
		民間等との共同研究	受託研究			小計		
			一般	競争的資金	小計			
件数(件)	3,041	1,195	381	359	740	1,935	280	5,256
受入金額(千円)	3,424,989	4,211,313	7,947,332	6,921,815	14,869,147	19,080,460	159,606	22,665,055

海外拠点

(平成30年5月現在)

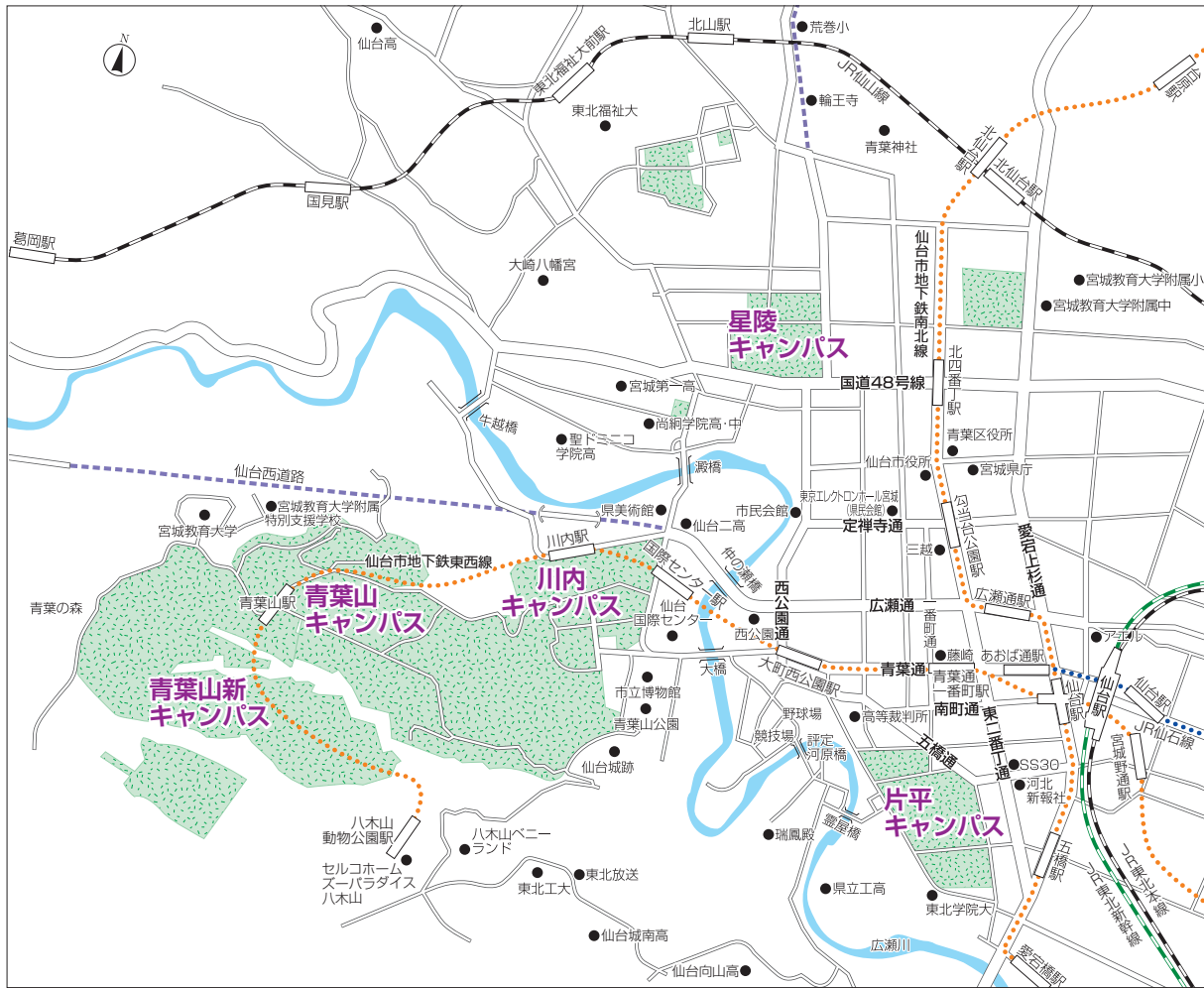
海外事務所	4ヶ国	5事務所
リエゾンオフィス	10ヶ国・地域	12オフィス

学術交流協定締結等

(平成30年5月現在)

大学間協定	36ヶ国・地域	227機関
部局間協定	60ヶ国・地域	497機関

キャンパス情報



片平キャンパス



生命科学研究所 / 法科大学院 /
 公共政策大学院 / 会計大学院 /
 金属材料研究所 / 流体科学研究所 /
 電気通信研究所 / 多元物質科学研究所 /
 材料科学高等研究所

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

仙台市地下鉄東西線

●「青葉通一番町駅」南1口から徒歩約10分

青葉山キャンパス



●青葉山東キャンパス
 工学部・工学研究科 / 医工学研究科 /
 未来科学技術共同研究センター
 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 ●青葉山北キャンパス
 理学部・理学研究科 / 薬学部・薬学研究科 /
 情報科学研究科
 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 ●青葉山新キャンパス
 農学部・農学研究科 / 環境科学研究科
 災害科学国際研究所
 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

仙台市地下鉄東西線

●「青葉山駅」キャンバス直結

川内キャンパス



●川内南キャンパス
 文学部・文学研究科 / 教育学部・教育学研究科 /
 法学部・法学研究科 / 経済学部・経済学研究科 /
 教育情報学教育部 / 教育情報学研究部
 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 ●川内北キャンパス
 国際文化研究科 / 東北アジア研究センター
 〒980-8576 仙台市青葉区川内41

仙台市地下鉄東西線

●「川内駅」キャンバス直結
 ●「国際センター駅」西1口から徒歩約5分

星陵キャンパス



●病院
 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 ●医学部・医学系研究科
 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 ●東北メディカル・メガバンク機構
 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
 ●歯学部・歯学研究科 / 加齢医学研究所
 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1

仙台市営バス

●JR 仙台駅西口バスプール⑩・⑪番のりば「大学病院経由」から約15分、「大学病院前」下車
 ●青葉通②、③番のりば、「交通局大学病院行」から約15分、「交通局大学病院前」下車
 ●JR 仙台駅西口バスプール⑫番のりば「子平町→北山循環」から約15分、「歯学部・東北会病院前」下車

仙台市地下鉄南北線

●「北四番丁駅」から徒歩約15分

● 東北大学概要 2018 ●

【編集・発行】平成30年5月

東北大学総務企画部広報課

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 Tel.022-217-4977

<http://www.tohoku.ac.jp/>